

コラボ!

第51号

2021.10

真岡市市民活動推進センター コラボーレもおか 【運営団体】特定非営利活動法人ま・わ・た

特集

Interview

インタビュー
子ども食堂、はじまりました。

近年、新聞やニュースで「子ども食堂」「地域食堂」といった言葉がよく聞かれます。子どもが一人でも行ける無料あるいは低額の食堂として、平成24年ごろから次第に全国に広まりました。令和2年には5,086カ所で開催されているようです①。役割としては「地域交流拠点」と「貧困対策」が挙げられますが、実際にはもっと多様な役割として地域に根付いてきています。

栃木県内でもこれらの役割を中心に据え、大小さまざまに30以上の取り組みが行われているようです②

真岡市においては、「作りたい」「必要だよな」といった声が聞こえる中、具体的な動きには繋がりませんでした。しかし、令和3年7月に2カ所の子ども食堂が立ち上がりました。今回は、その2つの子ども食堂について、活動にかける想いを聞いてきました。

